
廣東同鄉會 初夏遊濱離宮

適逢黃金週的5月3日（日）本會舉辦了都心遊步會，在初夏的太陽照耀下，上午9時半與會者三三五五聚集在集合地點的JR新橋車站銀座口，這天總共來了20餘名會員及家屬還有會友們，一路前往目的地「濱離宮恩賜庭園」。

這一天的漫步路程是，由新橋站出發後一路往汐留方向行進，步行一公里多即抵達了濱離宮。一行由庭園北側的大手門進場，拍了紀念照之後與會者們就在園內自由散步，盡情觀摩了園景。

濱離宮是一座由東京灣引入海水，可欣賞其潮水漲落之差變幻的回遊式築山泉水的庭園。從江戸時代已開始營造。園內有鴨場、潮入之池、茶屋、花圃、牡丹園等景點。歷史上這裡最早是甲府藩的別墅，後成為將軍家的別邸「濱御殿」，歷經旧宮内省接管的年代，二戰之後被下賜給東京都成為都立公園至今。園內有一株樹齡高達300年的老松樹，眾多遊客都會在此留步拍照留念。純日式庭園的背景是汐留地區林立的現代化高樓大廈群，其呈現出一副非常有趣的情景對比。

上午11時半，與會者回到大手門集合，往回走到出發地點的新橋站，再乘地鐵回到人形町，徒步走到位於日本橋濱町的同鄉會館，參加了在會館舉辦的飲茶會。這天參加飲茶會的人士還包括了未有參加步行會的會員會友們，結果總人數上達四十餘人，眾人歡聚一堂，在談笑風生中輕鬆愉快地共享了一次午膳。廣東同鄉會每年都會春秋二季舉辦都心散步暨飲茶會，每次均博得廣泛會員們的好評。

廣東同郷会 初夏の浜離宮を散策

大型連休最中の5月3日（日）、本会は都心ウォーキングの会を催した。初夏の晴れ渡った陽気に誘われ、午前9時30分には集合地点であるJR新橋駅銀座口に多くの参加者が三三五五集まり、総勢20数名の会員とその家族そして会友らが目的地である「浜離宮恩賜庭園」を目指した。

この日の散策ルートは、新橋駅を出発し、汐留方向へ歩みを進め、一キロあまり先にある浜離宮に到着した。庭園北側の手門より入場し、記念撮影ののち自由散策時間となり、参加者は庭園内を思い思いに巡った。

浜離宮は東京湾から海水を取り入れ潮の干満で景色の変化が楽しめる潮入りの回遊式築山泉水庭で、江戸時代に庭園として造成された。園内には鴨場、潮入の池、茶屋、お花畑、ボタン園などを有している。歴史的には甲府藩の下屋敷の庭園であったが、その後將軍家の別邸「浜御殿」、旧宮内省管理の離宮を経て、戦後東京都に下賜されてからは都立公園として今日に至っている。園内には樹齡300年を誇る松の木があり、多くの観光客が足を止め記念撮影をしていた。純日本風の庭園の背景が汐留地区の高層ビル群が配され、そのコントラストが趣ある佇まいを呈していた。

午前11時半、参加者は再び大手門に集結し、来た道に戻り出発地点であった新橋駅から地下鉄で人形町へ移動。そこから徒歩で日本橋浜町の本会会館に至り、同所での飲茶会に参加した。この日の飲茶会には散策に参加しなかった会員らも多数駆けつけ、総勢40余名が休日の楽しい昼の憩いの時間を過ごした。廣東同郷会では毎年春と秋に都内近郊の散策と飲茶の会を開催し毎回好評を博している。